



「東京から物事を感じる」

昨年の一二月、取引先の経営者が亡くなるという事態が生じ、その後、その会社の事業を当社が引き継ぐという機会が生じた。その事があつて、月に一回程度は東京に出張することとなった。

東京では、電車や飛行機に乗っている感じでは、満杯で混雑しており、日本が急激な人口減少に襲われているという現実を感じられない。しかし一歩踏み込むと、ホテルのレストラン、ドラッグストア、コンビニと、どこもここも外国人が勤務している。日本人の働き手が不足しているのだと感じる。

東京のハ丁堀に事務所があり、そこでは外国人の支援事業(特定技能一・二号・外国人招来事業)が行われています。北海道から沖縄までが、お客さんのエリアです。そんな環境に身を置くと、愛媛県と香川県を中心とした介護事業は、何と狭い範囲で仕事をしているのだろうという感慨を覚えます。

もっと裾野を広げてもいいのだと。



代表取締役社長

寺河 駿



外国人も訪問介護員へ (初任者研修が必須) 人事部

令和七年度の介護職員初任者研修・四国中央教室が始まりました。国家資格である介護福祉士を目指すファーストステップです。期間は五月二日から、一週間に渡り二日間実施されます。本年四月より、外国人人材も介護職員初任者研修に加え、一定要件を満たせば訪問介護業務が認められるようになり、全体で百五十人を超える外国人スタッフが働く悠遊社では、愛媛県内他社に先駆け、その手続きを始めました。



本講座においても、総勢十四人、また同時開催の松山開催でも七人の外国人スタッフが研修を頑張っており、日本人を含め、多くの訪問介護要員が誕生する予定です。

スマホ片手に日本語と格闘しながら熱心に受講する姿は、まさにこの人たちに悠遊社を託すのだという期待を持たせてくれます。

また、四国中央教室では全講師悠遊社、訪問看護タートルの管理者で講師を揃え、真に日常業務で必要な実践的講義を行ってくれます。



受講生、講師全員が熱い情熱で暑い季節を乗り越えます。世間で叫ばれる介護人材不足も悠遊社なら対応できる体制を取ります。

極々近い時期に講座出身の訪問介護員であふれる悠遊社になることが楽しみです。



「パワーハラとカスハラ研修」

五月後半に、エリアに分けて数回。パワーハラスメント及びカスハラスメントに関する研修会を管理者以上に対して実施しました。

講師に「特定社会保険労務士近藤妙先生」をお迎えして、過去に起こった事件や判例などの具体的な事案を元に、実際に発生したときの指針となる内容もお話しいただきました。



昨今問題となってきた「カスハラ」ハラスメント」に関して「明確な対応方針の策定」「相談窓口の設置」「従業員の教育・研修」「法的対応の準備」「顧客との関係構築」などの点についてお話を伺いました。

東京都では本年四月からカスハラ防止条例が施行され、企業には従業員保護のための具体的な対策が求められています。企業が適切な対応を取ること、従業員の安全と健全な職場環境を守る必要があります。

一人でも対応して悩んで健康を害しないように組織としてもバックアップしていかねばと感じました。

「六月誕生日職員」

福利厚生の一環として正社員10,000円・パートさん5,000円の誕生日お祝い金を支給いたします。

G H あんどグエン ティクイ
タオ/あすなる北内 せの里
黍田 貞子/G H エーデル
インニャット ハオ/有料エー
デル 小倉 玲子・石川 美鈴
/G H くれなゐ 佐伯 幸子
スマイルデイサービス 亀井
愛/G H たんぼ ぼーマイ ティ
タイン チュック/デイ花ぜん
//ファミレタイントウエン
/ゆうゆう南江戸 渡部 裕子
/南江戸訪問 山川 優理/G
H 菜の花 吉田 ひとみ・エ
タンダー ウィン/ゆうゆう三
島 田中 智也・長谷川 理江
/G H 重信の郷 鳥井 知世
ゆうゆう春日 藤川 わさみ
春日訪問 福家 賢子/G H 紅
葉の里 おだ ぐエン ティホン
/デイゆうゆう 西川 和美
/有料ゆうゆう 加藤 陽子/サ
高住新居浜 ミヤモースエー
/ゆうゆう東石井 藤岡 みな
み・渡部 妙子/総務課 國岡
美恵/シヨートゆうゆう大洲
森越 奈美/よろこび大久 中
田 友子/ゆうゆう市坪 白井
美奈子/ゆうゆう土居 妻鳥
秀樹・チャンクオック トウア
ン/デイ笑音 加納 恵実/ゆ
うゆう姫路 フィン ホンドウ
ツク/ゆうゆう新居浜 堤 和
恵/G H 優瑠里 ミヨリン テ
ッ/訪看あんず 相原 美絵
デイ花へんろ 千光士 靖/有
料ゆうゆう立花 ヴー ホアン
ハイ



最近では感染症対策やさまざまな事情により、大掛かりなレクリエーション活動を行う機会が少なくなっています。しかし、入居者の皆さまに少しでも笑顔になつていただけるよう、職員一同で工夫を凝らしたささやかなレクリエーションを定期的に開催しています。

今回は、施設内のホールを使って「風船バレー」を行いました。軽くて安全な風船を使うことで、身体への負担も少なく、



どなたでも安心してご参加いただけます。入居者様同士やスタッフとのやりとりも自然と生まれ、笑い声があふれる和やかな雰囲気となりました。手を伸ばして風船を打ち返す動作は、楽しいだけでなく、身体を動かす良い機会にもなります。

皆さまの笑顔や「またやりたいね」という声に私たちスタッフも大きな喜びを感じました。



今後も安全に配慮しながら、季節の行事やさまざまなレクリエーションを充実させて、入居

者の皆さまに少しでも明るく楽しい時間を提供していけるよう努めてまいります。



最近の楽しかった出来事は、家族で野球観戦に行ったことです。

この季節にしては少し肌寒い空模様でしたが、球場には多くのお客さんがいて、応援歌が流れていたり、楽器演奏が行われている事もあり、試合開始前から球場全体が、寒さが飛んでいくような盛り上がりでした。

私はめったに野球観戦に行くこともなく、球場内には熱狂的なサポーターの方々がいて、最初は静かに試合を見ているだけでした。しかし、試合が進むにつれて他のお客さん達と同じように声を出して応援したり、点が入ると普段私は人見知りで積極的に知らない方達と関わる事が難しいですが、隣に座られている方とハイタッチを一緒にやって盛り上がって楽しむことができました。



非日常のような所で声を出し、試合の結果としても勝利した事が嬉しくあり、とてもリフレッシュでき、疲れがとれた気分になりました。今後、定期的に趣味にしたいなと思いました。

私達のグループホームでは、入居者様に日々の生活の中で楽しみや達成感を感じていただけるよう、折り紙や花がみを使った作品作りに取り組んでいます。最初は「めんどいのお」と少し照れたようにおっしゃる方もいらつしやいますが、いざ始めてみると、職員との会話を楽しみながら、器用に手を動かされる姿が印象的です。



今月は母の日に合わせて、カーネーションの壁飾りを制作しました。やわらかな花がみを丁寧に折り重ね、美しい花が次々と出来上がっていく様子に、皆さまの表情も次第に明るくなっていきます。「こんなんで喜んでもらえるかねえ」と笑いながらも、一輪一輪に心を込めて作ってくださいました。



今後も季節の行事にちなんだ創作活動を通じて、笑顔あふれる時間を提供していきたいと考えています。

介護の現場で働く中で、たくさん大切なことに気づきました。まず最初に感じたことは、利用者一人ひとりに合った対応の重要性です。同じ言葉や行動でも、相手によって受け取り方が異なるため、丁寧な関わりが求められます。また、言葉遣いや表情が相手の安心感に大きく影響するため、忙しい時でも、丁寧に接し、利用者一人ひとりの人生に寄り添った介護が求められると思います。



生活の支援だけではなく、心のケアも介護には欠かせません。先輩たちがいつも笑顔で対応している姿を見てプロ意識を学びました。さらにチームワークの重要性にも気づきました。普段からスタッフ同士が助け合いの気持ちを持ち、困ったときに助け合える環境が、良い介護につながると思います。

チムワッ!



これからも利用者様に安心してもらえるように努力を続けたいです。

今回は、皆様お馴染みのグラフジ松山内にある「どんと」さんです。

期間限定ということで、鱈フライとロースカツ定食を頂きました。ふつくら肉厚の鱈と外はカリカリ中はジューシーなロースカツを堪能しました。ご飯とキャベツがかわり出るのも嬉しい所です。

皆様もお買い物の時に、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。(季節限定メニューは変わることがあります)



「どんと」さんは、多くの店舗が県内外のフジに併設されています。六月現在の季節限定メニューは「花芽わさびのチキンロールと梅おろし(ロースカツ) 四九〇円/ひれかつ一五九〇円」「冷やし中華とハーフうな井一四九〇円」「うな重二〇九〇円」など、ムシムシする季節に涼とスタミナを提供しています。



五月は数日暑い日があったり、肌寒い日が戻ってきたりと気温差のある日が多かったのですが、六月はじめも似たような天気となっています。第二週に入ると雨の日も多くなり梅雨入りするのはこの報道もあり、季節の行事も屋内中心となるかと思えます。

そうすると写真の撮り方も工夫必要となります。まず天井の明かりが強すぎて主体となる活動の様子が暗くなっている写真をよくご提供いただきます。ほとんどがそのまま使えません。デジカメやスマホで撮ることが多いかと思いますが、後ろに明るい部分があるときは、ストロボを使って撮影するだけで、主体が映えるようになります。スマホのカメラでも露出補正という機能があり、それを合わせて使うと良い写真が撮れます。また、保存するときには高画質モードで保存して下さい。画質が悪いと新聞でもwebでも使えなくなります。青字の三つを意識して素敵な写真を撮ってくださいね!!



発行 株式会社悠遊社
編集 広報担当
連絡先 愛媛県松山市余戸南 二、二四、三十八
電話 〇八九九六五一一九九〇
連絡先 koho@vuyusya.co.jp
配布 毎月一日(基準日)